



ほけんだより 6月号

2024年6月3日
社会福祉法人 尚徳福祉会
保土ヶ谷保育園

梅雨の季節になりました。湿度が高くなり、気温の変化が大きいこの時期は、下痢、嘔吐が流行りやすく体調を崩しがちな季節です。 エアコンやサーキュレーターなどをうまく活用し子どもたちが過ごしやすい環境作りに配慮したいと思います。

感染性（ウイルス性）胃腸炎

ノロウイルスその他様々なウイルスが原因で、吐き気や嘔吐、下痢、腹痛などの症状が見られ、発熱する場合があります。下痢や嘔吐がある場合は、脱水症状にならないよう、少量ずつこまめな水分補給を心がけましょう。

また、吐物や便にはウイルスが含まれているので適切な処理をし、片付け後は、手洗い・うがいをきちんと行ってください。手洗いは石けんをよく泡立て2分位かけるつもりでよく洗います。

症状回復後は、登園届（保護者記入）が必要です。

受診した際には、症状の回復がない場合の再受診の目安を確認しておくようにしましょう。

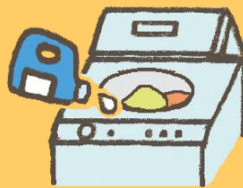
嘔吐物や便で汚れた衣服は…

感染拡大予防のために、園では洗わずにそのままお返しします。

85℃以上の熱湯に1分以上浸けるか、塩素系漂白剤を薄めた物で消毒します。
(酸素系漂白剤は不可)



消毒ができれば洗濯機に入れても大丈夫です。



汚れた場所もしっかりと塩素系漂白剤を薄めたもので消毒を行いましょう。



発熱・下痢・嘔吐等の後の登園の目安は
「症状が消失して24時間経過し、食事をいつもと変わらず食べることができ、機嫌がよいこと」
です。



園内で報告された感染症

(5月)

ウイルス性胃腸炎
アデノウイルス

